

聖 体 賛 美 式



「聖体の顕示と賛美式は、聖体に現存されるキリストをたたえ、
聖体礼拝によって最高度の実現したキリストとの一致を
味わい深めるものであるから、
霊と真実のうちに神にささげるべき礼拝にとって大きな助けとなる。」

(「ミサ以外のときの聖体拝領と聖体礼拝」より)

1. 聖歌 「主こそわがほまれ」カトリック聖歌集13 (起立)

1. 主こそわが誉よ かがやく光よ こよなき安らいよ たぐいなき友よ まごころ尽して われ愛しまつらん	Shu koso waga homareyo kagayaku hikariyo koyonaki yasurai yo tagui naki tomoyo ma-gokoro tsukushite ware aishi matsu ran
2. いのちよ喜びよ ちからよ助けよ 汝が慰めをこそ 我は待ちのぞむ 汝が慈しみを われ何にたとえん	Inochi yo yorokobi yo chikara yo tasukeyo naga nagusame o koso wagawa machinozomu naga itsukushimi o ware nani ni tatoen
3. 哀れみのみ神よ 天のみ助けよ 永久の幸こそ わがあつき願い 空しく過ぎし日 み赦しを願わん	Awaremi-no mi-Kamiyo ten-no mi-tasukeyo tokoshie no sachi koso waga atsuki negai munashiku sugishi bi mi yurushi o negawan

2. 顕示と献香

3. 礼拝 (着席)

3.1 「アニマ・クリステイ」 (ロヨラの聖イグナチオの祈り)

司祭	キリストの魂、
一同	わたしを聖化してください。(Watashi o seika shite kudasai)
司祭	キリストの御体、
一同	わたしを救ってください。(Watashi o sukutte kudasai)
司祭	キリストの御血、
一同	わたしを酔わせてください。(Watashi o yowasete kudasai)
司祭	キリストの脇腹から流れ出た水、
一同	わたしを清めてください。(Watashi o kiyomete kudasai)
司祭	キリストの受難、
一同	わたしを強めてください。(Watashi o tsuyomete kudasai)
司祭	慈しみ深いイエス、
一同	わたしの願いを聴き入れてください。(Watashi no negai o kikiirete kudasai)
司祭	あなたの傷のうちにわたしをつつみ、
一同	あなたから離れることのないようにしてください。 (Anata kara hanareru koto no nai yō ni shite kudasai)
司祭	悪い敵から、
一同	わたしを守ってください。(Watashi o mamotte kudasai)
司祭	臨終のときに、
一同	わたしを呼びよせてください。(Watashi o yobi yosete kudasai)
司祭	あなたのもとに近づけるように、
一同	わたしにゆるしを与えてください。(Watashi ni yurushi o ataete kudasai)
司祭	すべての聖人とともにいつまでも、
一同	あなたを賛美することができますように。アーメン。 (Anata o sanbi suru koto ga dekimasu yō ni. Āmen.)

3.2 聖歌 「すべての人よ」 (答唱のみ3回繰り返す)

すべてのひとよ、主をたたえよ。
Laudate omnes gentes, laudate Dominum.
すべてのひとよ、主をたたえよ。
Laudate omnes gentes, laudate Dominum.



3.4 沈黙 (5分程度の黙想)

4. 賛美 (起立)

4.1 聖歌 (「きよききよき」 カトリック聖歌集75番 (2回繰り返す))

きよき きよき きよき わが主	Kiyoki kiyoki kiyoki waga Shu
きよき きよき わが神よ	Kiyoki kiyoki waga Kami-yo
たえなる光 輝きて	Taenaru hikari kagayakite
われらを常に すべたまう	Ware-ra o tsuneni sube tamau

4.2 献香

4.3 祝福前の祈り

司祭 永遠の真理である神よ、
一同 あなたを信じます。(Anata o shinjimasu)

司祭 わたしたちの力と救いである神よ、
一同 あなたに希望を置きます。(Anata ni kibō o okimasu)

司祭 限りない いつくしみである神よ。
一同 心を尽くしてあなたを愛します。
(Kokoro o tsukushite anata o aishimasu)

司祭 世の救い主としてみ言葉をお遣わしになった神よ、
一同 み言葉においてわたしたちを一つにしてください。
(Mi kotoba ni oite watashi-tachi o hitotsu ni shite kudasai)

司祭 おん子の霊でわたしたちを満たしてください。
一同 あなたのみ名がたたえられますように。アーメン。
(Anata no mi na ga tatae raremasu yō ni. Āmen)

4.4 祈願

司祭 神よ、あなたは天からのパンをふらして、
民に与えられました。

一同 わたしたちの心を喜びで満たしてくださいました。
(Watashi-tachi no kokoro o yorokobi de mitashite kudasaimashita)

司祭 祈りましょう。
恵み豊かな神よ、
御子キリストは、その死と復活を記念する
とうとい秘跡を教会に残してくださいました。
主のからだを受け、
救いの力にあずかるわたしたちが、
主の死を告げ知らせることができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。

一同 アーメン。(Āmen)

4.5 ご聖体による祝福

(司祭が祝福している間、参加者が合掌して、聖体を仰ぎ見ます。
聖体顕示台が祭壇の上に下されたら、頭をさげて、
祝福を受ける意味で、十字架の徴をします。)

4.6 閉式の聖歌 「栄光から栄光へと」

栄光から栄光へと 私を変えて
栄光へと私を変えてくださる
主と同じ姿に変えられるまで
主は私を変えて変えてくださる

Eikō kara eikō e to watashi o kaete
Eikō e to watashi o kaete kudasaru
Shu to onaji sugata ni kae rareru made
Shu wa watashi o kaete kaete kudasaru

